

府内の野生イノシシへの豚熱感染を防ぐために 第4回目の経口ワクチン散布を開始

京都府野生いのしし CSF 経口ワクチン散布等対策協議会

豚熱は、豚といのししのみが感染する家畜伝染病で、現在、山形県から兵庫県までの23都道府県で野生いのししでの感染が確認されています。

府内の野生いのししへの感染を防ぐ経口ワクチン散布は、今回で4回目となりますが、国の予算削減に伴い散布地域を限定し、府内の飼養豚等の大部分を占める南丹地域を中心に、優先的に実施しますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1 経口ワクチン野外散布の概要

【散布スケジュール】

令和3年度散布計画：2期4回散布（前期、後期）

前 期 分	実 施 内 容
5月19日（水）～22日（土）	散布地点選定・餌付けによる誘引
5月23日（日）～24日（月）	ワクチン散布（1回目）
6月20日（日）～21日（月）	ワクチン散布（2回目）
6月26日（土）～27日（日）	ワクチン回収※

日程は、天候等で変更になる場合があります。

※イノシシが食べ残したワクチンは摂食率調査などのために回収します。

【散布地域（散布地点数）】

府内3市1町の一部(350)

野生いのしし生息地域

京都市(45)・亀岡市(90)

南丹市(140)・京丹波町(75)

【散布数】

前期分 14,000個

(1回散布7,000個×2回)



2 経口ワクチンについて

- ・ワクチンは、国の食品安全委員会で安全と評価された成分からできています。
- ・ワクチンを摂取したいのししの肉を食べても人の健康に影響はありません。
- ・他の野生動物がワクチンを摂取しても問題はありません。
- ・他の動物が食べにくいようにワクチンは土中に埋めます。

3 お願い

- ・近隣府県でも、野生いのししの豚熱感染が確認されているため、山林から下山の際は、靴底等に付着した土を洗い流すなど、感染の拡大防止に御協力をお願いいたします。
- ・経口ワクチンを発見した場合は、触らないでそのままにしてください。



ワクチンが入ったアルミ包の周りに、トウモロコシ粉等を固めた四角形の固形
人体には無害です。

問い合わせ先

京都府野生いのしし CSF 経口
ワクチン散布等対策協議会
(京都府農林水産部畜産課家畜衛生係)

TEL:075-414-4987

FAX:075-414-4982